

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	小山市役所			代表者名	浅野 正富
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報政策課	連絡先電話番号	0285-22-9343
担当者役職	室長	担当者氏名	藤田 馨子	連絡先E-mail	
住所	3238686 栃木県小山市中央町1-1-1				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	生成AI導入事業
概要	職員向けの「生成AIによる業務効率化とリスク対策について」の研修を行い、職場における生成AIの業務利用の拡大を図る。		
支援を求める分野	AI活用 生成AI活用		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月26日	フォローアップ(オンライン)	14時00分	15時00分	
				活動時間(分)	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	・当市の持つ課題に対して、他自治体の事例をもとに、具体的に明確なアドバイスをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	4人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	・2023年10月に、職員の生成AI利用を開始したが、個人による生成AIの活用能力に依存しており、利用者拡大と効果的な利用になっていない。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	・職員自らが担当する業務に生成AIを積極的に活用し、業務効率化を推進する職場となる。 ・他部署における相談業務に生成AIの利用拡大を図り、市民に寄り添った的確な支援ができるようになる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の生成AIの利用拡大のための注意点は、生成AIに学習をさせない環境とすることとモラルに従った使用とすること</li> <li>勉強会で使用方法を共有すること(参考資料;横須賀市)</li> <li>業務に生成AIを組み込む(議事録生成、答弁作成など)</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用申請方法について。従来の必須条件である生成AIについての集合研修受講が、生成AIの利用拡大に課題となっていると予想された上で、オンライン動画と理解度確認テストの組み合わせにすることと具体的な提案をいただきました。これにより、1年に1回のみ使用申請機会を、常時受付可とすることができそうです。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	生成AIの使用拡大のために、色々とアドバイスをいただき、課題の解決法を色々と見つけることができました。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	先進的に取り組んでいる他市等と比較し、生成AIを安全に利用拡大していくには、当市の従来のルールを見直す必要があることがわかりました。見直しをヒントはいただいたので、今後変えていこうと考えています。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 研修後の振り返りの打ち合わせのため	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 次年度も予算確保済み。今後も生成AI利用拡大を進めていきます。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の積極的な生成AIの活用による業務効率化の結果、職員の作業時間が短縮された分を市民サービスの充実に振り当てる</li> <li>相談業務等の生成AIの利用により、より質の高い市民に寄り添った的確な支援ができるようになる。</li> </ul>	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

